

第108回 地区内中小企業景気動向調査結果

(平成27年10～12月期実績・平成28年1～3月期見通し)

1. 調査時点 平成27年12月1日～12月7日
2. 調査対象企業数 173社中回答 173社 回答率 100.0%

区分	調査対象企業の範囲	調査対象企業数	有効回答数	有効回答率(%)
製造業	従業員 300人以下	39	39	100.0
建設業	〃	42	42	100.0
卸売業	従業員 100人以下	7	7	100.0
小売業	従業員 50人以下	54	54	100.0
サービス業	〃	31	31	100.0
合計		173	173	100.0

3. 調査方法

当金庫調査員の面接聞き取りによる感触調査です。

調査対象企業は、当金庫の営業区域（新冠町～広尾町）内に所在する企業とし、その抽出は、各業種・規模等の基本属性の構成が、調査対象母集団の属性に見合う一定基準に基づいて有意抽出で行っています。

4. 分析方法

各質問項目で「増加（上昇）」したと回答した企業の全体に占める構成比と、「減少（下降）」したと回答した企業の全体に占める構成比との差（判断指数・D I 値）を中心にして分析を行っています。

なお、同時に信金中央金庫 地域・中小企業研究所が行う、全国調査結果と地区内との比較分析を行っています。

5. お問い合わせ先

日高信用金庫 業務部地域貢献課（TEL. 0146-22-4100、内線 621）
〒057-0013 浦河郡浦河町大通 2 丁目 31 番地 2

全業種総合 173 企業 (回答率 100.0%) の調査結果です

□ 概 況

今期（平成27年10～12月期）の業況判断D.I.は△5.7と、前期（平成27年7～9月期）比8.2ポイント上昇し、3期連続の改善となった。前年（△19.1）比でも13.4ポイント上昇、前期（平成27年7～9月期）調査時点での今期（平成27年10～12月期）見通し（△14.4）を8.7ポイント上回る水準となった。業種別には、製造18.0(前期2.5)、建設11.9(同△4.8)、卸売△14.3(同△57.2)、小売△27.8(同△22.1)、サービス△19.3(同△22.6)となった。

売上額判断、収益判断D.I.はともに2.3と前期比1.8ポイント、6.9ポイントそれぞれ上昇した。

来期（平成28年1～3月期）の予想業況判断D.I.は△31.1と、今期実績比25.4ポイントの大幅下降の見通しとなった。業種別にみると、製造△5.0、建設△31.0、卸売△42.9、小売△44.4、サービス△38.8と来期を見通している。

【業種別天気図】

時 期 業 種	地 区 内				北 海 道	全 国
	27年 4月～6月	27年 7月～9月	27年 10月～12月	28年 1月～3月見通し	当 期	当 期
総 合						
製 造 業						
建 設 業						
卸 売 業						
小 売 業						
サ ー ビ ス 業						

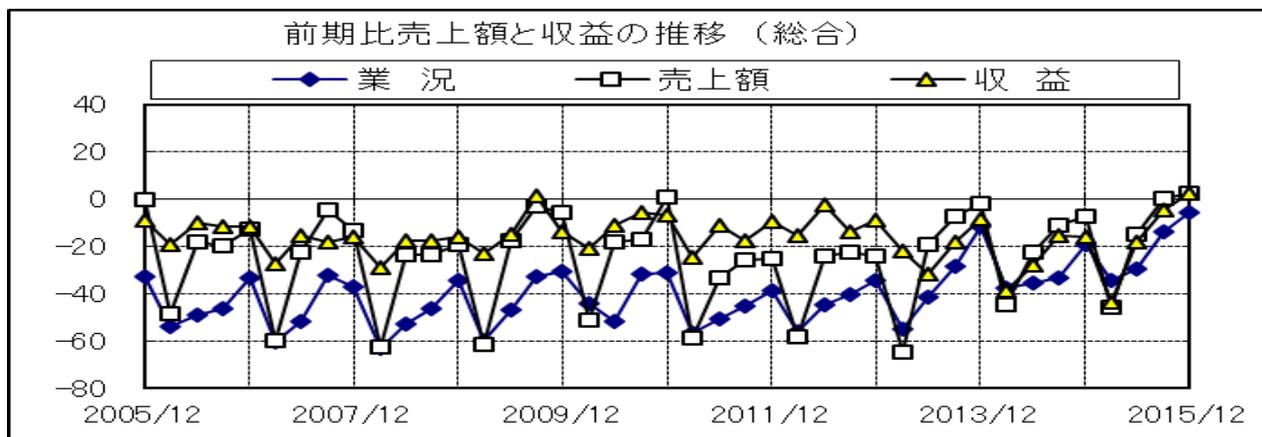
好調 ← → 低調

この天気図は、景気指標を総合判断して作成したものです。

□ 景 況

DI 値 の推移	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期見通し
業 況	-29.5	-13.9	-5.7	-31.1
売上額	-15.0	0.5	2.3	-37.5
収 益	-18.0	-4.6	2.3	-34.0

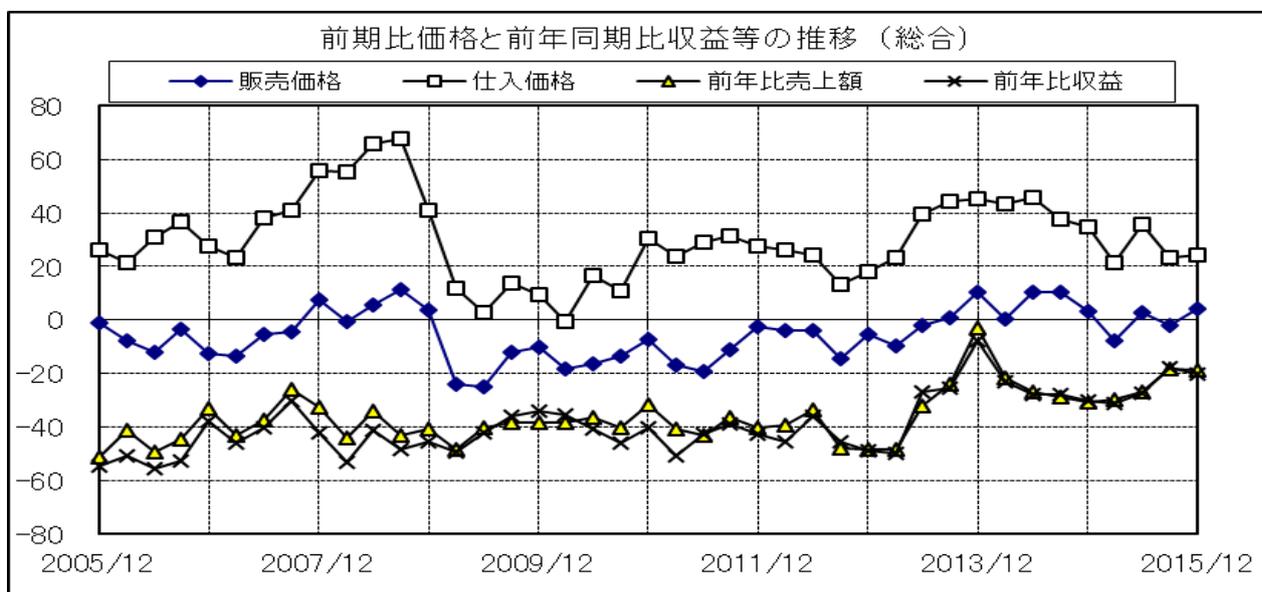
全業種総合の今期の業況判断D. I. は△5.7と、前期比8.2ポイント上昇で、3期連続して改善した。地区別のD. I. は、高い順に、広尾、えりも・様似は同水準で並び、静内、浦河、三石の順となった。業況判断D. I. は前年(△19.1)比では13.4ポイント上昇した。売上額判断、収益判断D. I. はともに2.3と前期比1.8ポイント、6.9ポイントそれぞれ上昇した。



□ 価格面、前年同期に比べた動き

DI 値 の推移	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期見通し
販売価格	2.8	-2.2	4.0	-13.2
仕入価格	35.8	23.2	24.2	12.7

販売価格判断D. I. は4.0と、前期比6.2ポイント上昇、プラスに転じた。仕入価格判断D. I. も24.2と、前期比1.0ポイント上昇した。業種別にみると販売価格は、卸売、製造が上昇し、小売、サービスは下降。建設は横這いとなった。仕入価格は、製造、小売が上昇、建設、卸売、サービスが下降となった。販売価格は前年(3.5)比で0.5ポイント上昇、仕入価格は前年(34.8)比で10.6ポイント下降した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期見通し
残業時間	-8.2	-2.8	5.2	-15.6
人手状況	-8.1	-13.3	-20.9	-9.2

残業時間判断D. I. は5.2と、前期比8.0ポイント上昇し、残業時間が増加したとする企業割合が増加した。

人手過不足判断D. I. は△20.9と、前期比7.6ポイント下降、一段と人手不足感が拡大した。

□ 設備投資の動き

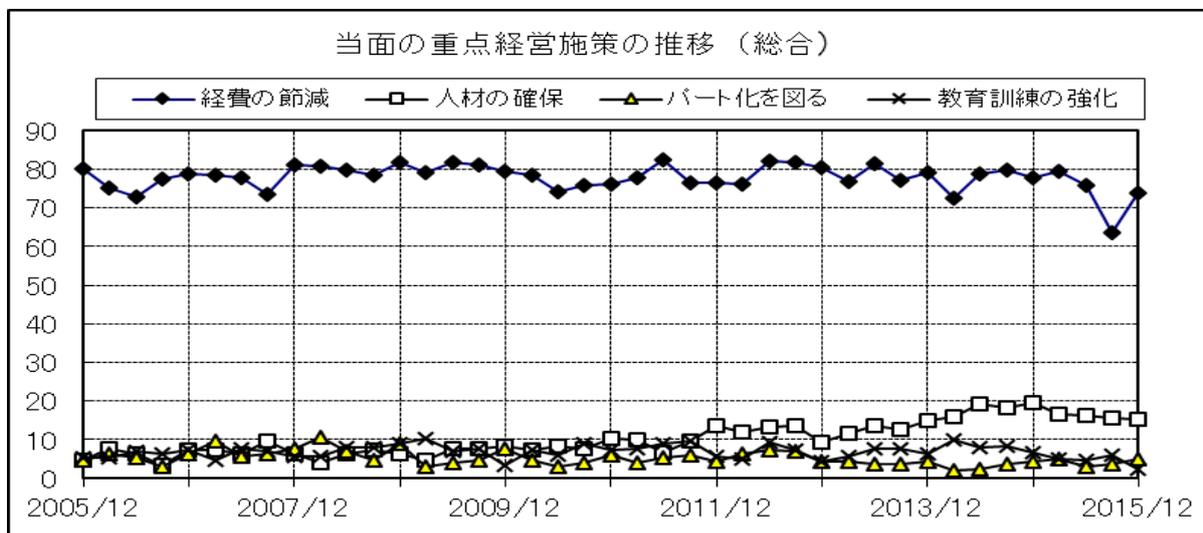
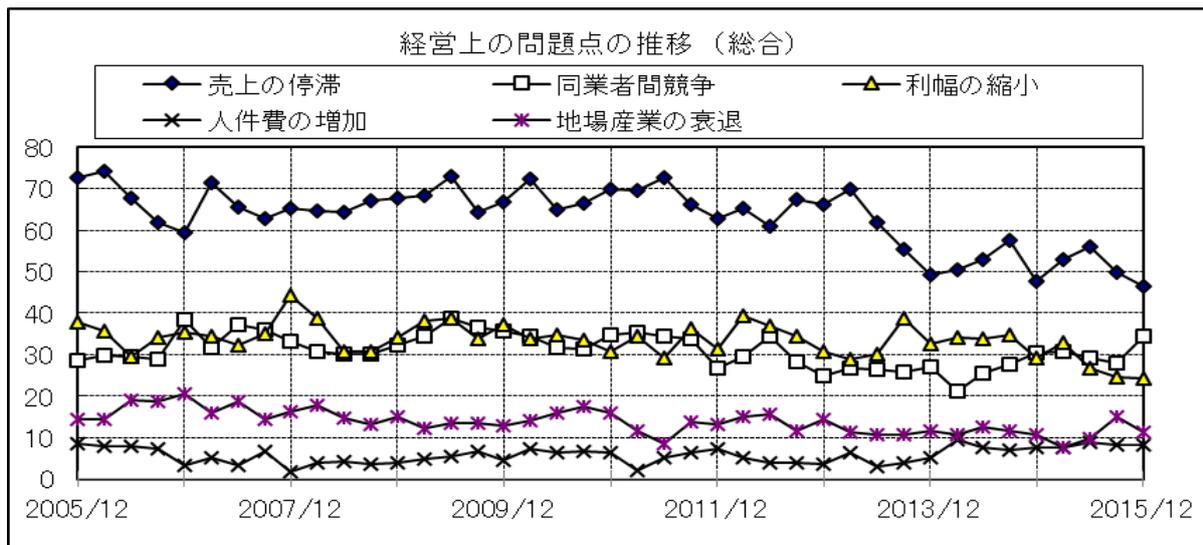
設備投資の充足感を示すD. I. は $\Delta 13.3$ と、前期比1.1ポイント上昇した。

設備投資実施企業割合は18.5%と、前期比2.9ポイント下降、32社の実施となった。来期の設備投資は、17社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」が46.4%で最も多く、次に「同業者との競争」34.5%、「利幅の縮小」24.4%、「人出不足」13.1%と続いた。

重点経営施策では、「諸経費の節減」が73.9%で突出している。次に「人材の確保」15.3%、「パート化を図る」が5.1%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は $\Delta 31.1$ と、今期比25.4ポイントの大幅な下降を見通している。

予想売上額判断D. I. は $\Delta 37.5$ と、今期比39.8ポイントの大幅な下降を見通している。

予想収益判断D. I. は $\Delta 34.0$ と、今期比36.3ポイントの下降を見通している。

予想販売価格判断D. I. は $\Delta 13.2$ と、今期比17.2ポイント下降を見通している。

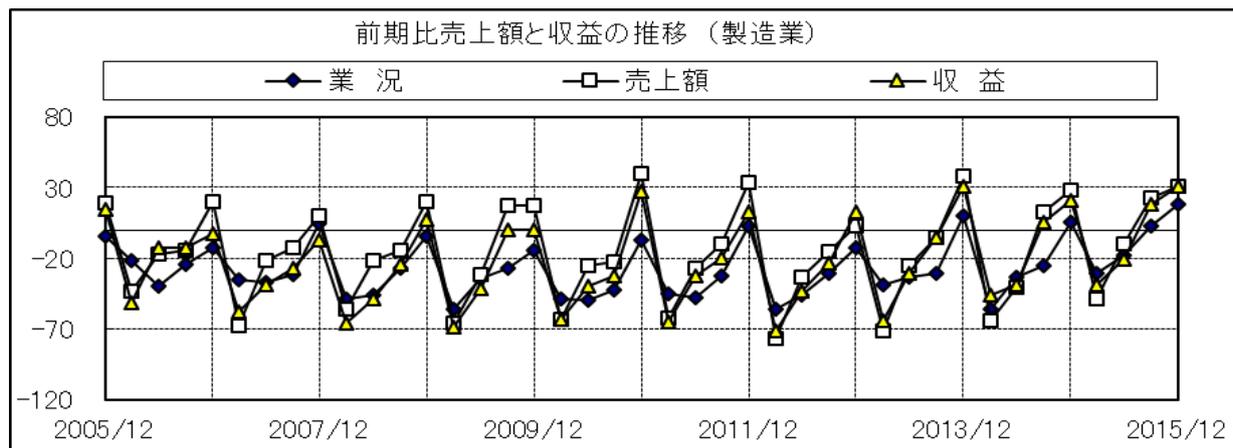
予想仕入価格判断D. I. は12.7と、今期比11.5ポイントの下降を見通している。

製造業 39 企業 (回答率 100.0%) の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期見通し
業 況	-17.9	2.5	18.0	-5.0
売上額	-10.3	23.0	30.8	-43.6
収 益	-20.6	18.0	30.8	-41.0

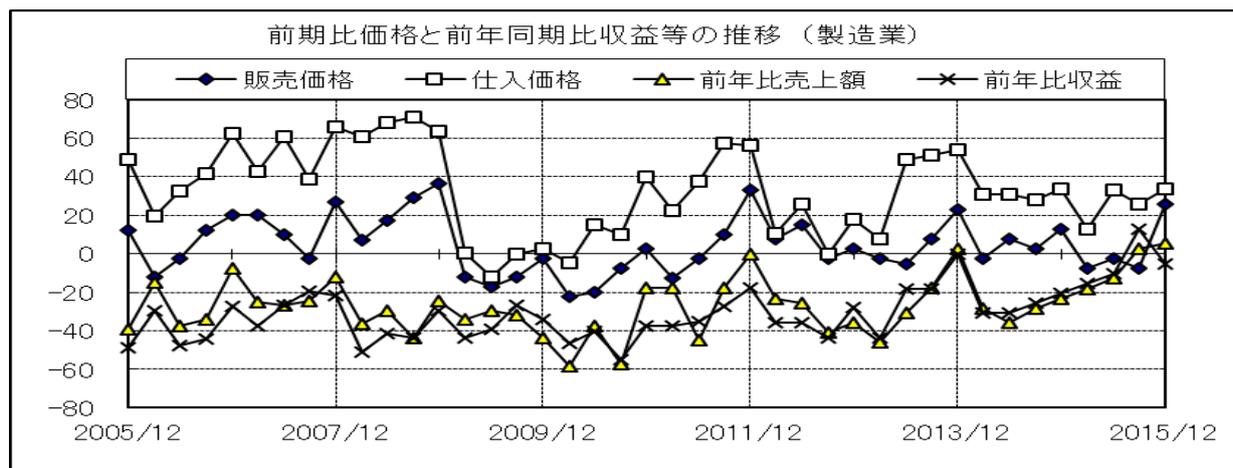
今期の業況判断 D. I. は 18.0 と前期比 15.5 ポイントの上昇で大幅に改善した。地区別の D. I. は、高い順に広尾、様似、浦河、えりも、静内、三石となった。前年(5.1)比では 12.9 ポイント上昇した。売上額判断 D. I. 収益判断 D. I. はともに 30.8 で前期比 7.8, 12.8 ポイントそれぞれ上昇し改善した。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期見通し
販売価格	-2.5	-7.7	25.7	0.0
仕入価格	33.3	25.7	33.4	10.3

販売価格判断 D. I. は 25.7 と、前期比 33.4 ポイント上昇、前年(12.7)比でも 13.0 ポイントの上昇となった。仕入価格判断 D. I. は 33.4 と、前期比 7.7 ポイント上昇、前年(33.4)と同値の水準となった。業種別に見ると、食品は販売価格、仕入価格ともに上昇した。木材は販売価格が下降し仕入価格は上昇した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期見通し
残業時間	-0.1	7.6	23.0	-10.3
人手状況	-5.1	-15.4	-38.5	-5.1

残業時間判断 D. I. は 23.0 と、前期比 15.4 ポイント上昇し残業時間が増加したとする企業割合が増加した。

人手過不足判断 D. I. は Δ 38.5 と前期比 23.1 ポイント下降、人手不足感がより一層強まった。

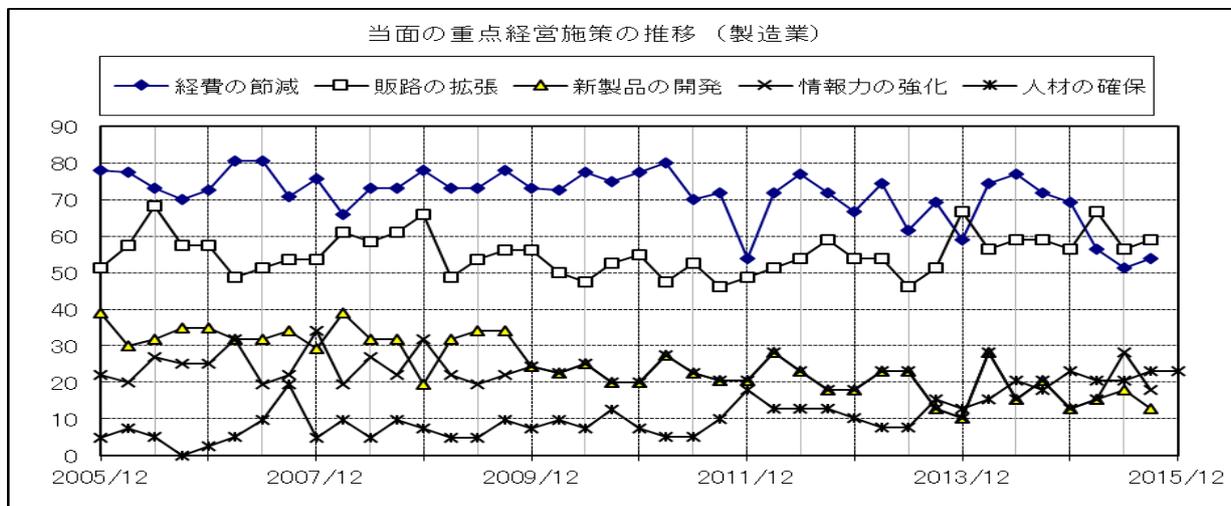
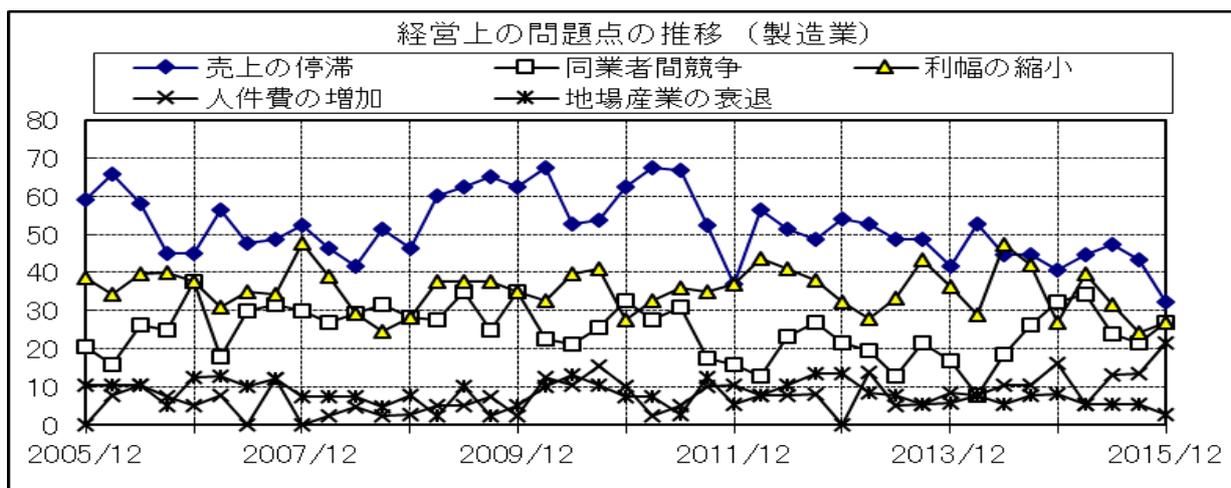
□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD. I. は△30.8 と、前期比 12.9 ポイント下降した。設備投資実施企業割合は 38.5 と、前期と同水準、15 社の実施となった。来期の設備投資は、5 社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「原材料高」35.1%、「売上停滞減少」32.4%、「同業者との競争」、「利幅の縮小」が同率で 27.0%、「人件費の増加」21.6%、「人手不足」18.9%、「工場機械の老朽化」・「天候の不順」が同率の 16.2% で続いた。

重点経営施策では、「販路を広げる」59.0% をトップに挙げ、次いで「経費の節減」53.8%、「人材を確保する」23.1%、「提携先を見つける」20.5%、「情報力を強化する」が 17.9%、と続いた。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は△5.0 と、今期比 23.0 ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D. I. は△43.6 と、今期比 74.4 ポイントの大幅な下降を見通している。

予想収益D. I. は△41.0 と、今期比 71.8 ポイントの大幅な下降を見通している。

予想販売価格判断D. I. はゼロ水準と、今期比 25.7 ポイントの下降を見通している。

予想仕入価格判断D. I. は 10.3 と、今期比 23.1 ポイントの下降を見通している。